

# ハゲタカアクワイア

original by えたとバンガードな仲間たち。

Ver. 1.01 2012/5/10

## (注意)

ハゲタカアクワイアは通常のアクワイアのルールをご存知の方を対象にしております。このルールには初心者向でない部分もあります。あらかじめご了承ください。

## ゲームの目的・勝利条件

全員でハゲタカより多くの資金を稼いでください。さらにプレイヤー間でもっとも資金を稼いだ人が勝ちです。

## プレイ人数

3人+ダミープレイヤー

(ダミープレイヤーを以降ハゲタカと呼びます)

## 用意するもの

通常のアクワイアに加えて以下の物を用意します。

- ✧ タイルを入れる袋
- ✧ ハゲタカの資金を入れるポット
- ✧ 高額紙幣 (あればよい)

## プレイの準備

ハゲタカ以外の各プレイヤーは通常ルールどおり\$6000を初期資金として配布します。ハゲタカには初期資金を配りません。

各プレイヤーおよびハゲタカは1枚ずつタイルを引き、通常通り初期配置および順番の決定をします(ハゲタカの順番も決定します)

ハゲタカ以外のプレイヤーは通常のアクワイアルールに準じます。

## ハゲタカのプレイ

ハゲタカの手番が来たら、タイルの袋よりランダムに1枚を引き、タイルを置くプレイをします。タイルが置き終わりましたらハゲタカの手番が終了となり次のプレイヤーに手番を移動します。

タイルを引くまたはタイルを置くことによって A)~D)が発生する場合は各処理に従ってください。

- A) タイルを置くことによって8種類目のホテルチェーンを設立してしまふタイルであった場合  
現在引いたタイルを脇に置き、袋からタイルを1枚引き直します。ハゲタカの手番終了時に脇に置いたタイルは袋に戻します。
- B) ランダムに引かれたタイルがセーフティホテルチェーン同士を接続するタイルであった場合  
通常のプレイできないタイルと同様に袋から除外し、タイルを引き直します。
- C) タイルを置くことでホテルチェーン新設された場合  
ホテルが新設された時に発生する設立ボーナスの株券は無視します。設立されるホテルは以下の優先順位で設立されます。
  - (1) ハゲタカが所持している(銀行に残っている)株で枚数が多いホテルチェーン
  - (2) ハゲタカが所持している株券の枚数が同じである場合は、設立時の価格の高いホテルチェーン(具体的には  $I/G > A/W/F > T/L$ )
  - (3) ランダムでホテルチェーンを設立します。
- D) タイルを置くことでホテルチェーンが吸収合併される場合  
通常のアクワイアのルールと同じで吸収合併を行います。この時、ホテルチェーンの件数が等しい合併が発生した場合にハゲタカがホテルチェーンを選択する場合は以下の判定で吸収される(すなわち潰す)ホテルチェーンを選択します。また、3チェーン以上の(件数の等しい)合併で吸収処理を行う場合、以下の判定での処理順番の高い順番に吸収処理を行います。
  - (1) ハゲタカが首席であるホテルチェーン(首席タイの場合は首席の人数が少ないホテルチェーン)
  - (2) ハゲタカが次席であるホテルチェーン(次席タイの場合は次席の人数が少ないホテルチェーン)

- (3) (1)、(2)による判定がつかない場合（ともに単独首席、ともに首席・次席のいずれでもない場合等）場合は所持している（銀行に残っている）株の枚数が多いホテルチェーン
- (4) (3)でも同じ場合は設立時の価格の高いホテルチェーン（具体的には  $I/C > A/W/F > T/L$ ）
- (5) (4)でも決まらない場合は、ランダムでホテルチェーンを選択します。

※この時点でハゲタカに収入が増えやすいチェーンが選択されやすくなっております。

吸収されるホテルチェーンが決まりましたら、首席・次席ボーナスを確定します。この時、銀行にある株式をすべてハゲタカが所有していると、ハゲタカもプレイヤーに含めて首席・次席株主を決定します。

※首席・次席独占は、ハゲタカを含む誰かが株券25枚全てを所持していた場合にのみ発生します。

首席・次席のボーナスを配布した後、通常のプレイヤーは株式の交換・売却・保持の選択を行います。ハゲタカは自分の株券（すなわち銀行にある株券）の時価を現金で受け取ります。銀行から受け取った金額はハゲタカのポットに移します。この合計金額はプレイヤーが任意に確認してかまいません。

#### 吸収合併の例

ハゲタカがタワー、ワールドワイド、フェスティバルの3ホテルチェーンの吸収合併（全て2枚）を起こしました。各プレイヤーが保持しているホテルチェーンの株券は以下の通りです。

	プレイヤー			ハゲタカ
	A	B	C	
タワー	13枚			12枚
ワールドワイド			5枚	20枚
フェスティバル		7枚	7枚	11枚

この場合、ハゲタカは優先順位に従って選択するホテルを決定します。優先順位は①ワールドワイド（首席であり、かつ保持枚数が多い）、②フェスティバル（首席であるが保持枚数が少ない）、③タワーの順（次席）になります。結果、優先順位の低いタワーが存続ホテルチェーンになり、ワールドワイドの吸収合併処理を先に行い、次にフェスティバルの吸収合併処理を行います。

ワールドワイドの処理：

首席ハゲタカ（首席ボーナス：\$3000+20株\$6000）  
次席プレイヤーC（次席ボーナス：\$1500）

フェスティバルの処理：

首席ハゲタカ（首席ボーナス\$3000+11株\$3300）  
次席プレイヤーB・C（次席タイボーナス：\$800）

この時点でハゲタカにはあわせて\$15300の収入が入りません。

#### ゲームの終了処理

プレイヤーがゲーム終了宣言をする場合は通常のルールに従います。ハゲタカは以下の状況になった場合ゲームの終了宣言をします。

- (1) 手番開始時に終了条件を既に満たしている場合、ハゲタカは手番を行わず終了宣言をします。
- (2) 手番プレイを行った結果、終了条件を満たした場合、ハゲタカはプレイ終了後、終了宣言をします。
- (3) 袋の中にプレイできるタイルがなくなった場合、ハゲタカは手番を行わず終了宣言をします。

終了時の処理はホテルの吸収合併と同様の処理を行います。この時、売却できる株券はすべて売却してください。売却後、ハゲタカを含めて各自資産を計算します。

#### ゲームの勝敗判定

まずはプレイヤー同士で資産を比較します。最も資産が多いプレイヤー（最も資産が多いプレイヤーが複数いる場合は該当者全員）が代表者となります。その後、プレイヤー3人の資産合計とハゲタカのポットの総額と比べます。

- A) プレイヤー3人の合計が、ハゲタカポット総額より多い場合  
プレイヤー側の勝利となり代表者は今回のゲームの勝者になります。敗者はいません。
- B) プレイヤー3人の合計がハゲタカポット総額より少ない場合  
プレイヤー側の敗北となり代表者は今回のゲームの敗者になります。勝者はいません。

代表者以外は代表者の勝敗には関わりなく「勝者でも敗者でもない」扱いとなります。また、合計と総額が等しい場合は引き分けとなります。